

---

第 324 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2015 年 6 月 17 日(水) 17 時 30 分～19 時 00 分

場 所: 実習館 2 階 総合歯科医学研究所セミナールーム

演 者: 鶴田 敏博 氏(宮崎大学医学部内科学講座

循環体液制御学分野・講師)

タイトル: 心不全の発症におけるオステオプロテゲリンの関与

急速な高齢化に伴い介護を要する高齢者数は増加の一途を辿り、社会福祉・医療経済面で大きな社会問題となっている。うっ血性心不全などの循環器疾患や骨粗鬆症による骨折は、身体機能や運動機能を低下させ、高齢者の日常生活の質を落とす重大な要因となる。疫学調査によれば、これら2つの疾病間の関連性が示唆される(Circ Heart Fail 2011; Circulation 2008; Vasc Health Risk Manag 2007)。破骨細胞の形成を抑制する因子として単離されたオステオプロテゲリン (OPG) (Cell.1997; Biochem Biophys Res Commun.1997)は発見当初から心血管系組織にも強く発現することが知られ、その血中濃度は心肥大や心不全の重症度に応じて増加する(Hypertension 2007; Biochem Biophys Res Commun 2005; Circulation 2005)。これらの研究成果から、OPG が骨代謝のみならず心血管系においても重要な役割を果たす可能性が示唆されるが、その病態生理学的役割はいまだ明らかでない。本セミナーでは、我々が行った遺伝子改変マウスの解析を元に、加齢に伴う心臓の形態や機能に及ぼす OPG の役割について紹介し、皆様と議論を深めたい。

担当:硬組織疾患制御再建学講座 宇田川 信之